第３章　道の事務・事業に関する取組の実施状況

道では、道が自ら排出する温室効果ガスの削減と道民や事業者の取組の促進を目的に2021（R３）年３月に「第５期 道の事務・事業に関する実行計画」（計画期間：2021(R３）～2030(R12)年度）を策定し、2030(R12)年度に温室効果ガス排出量を2013(H25)年度比 50%削減という目標に向け種々の取組を進めています。

概況

- ○ 2024（R6）年度の温室効果ガスの排出量は、**220,940 トン（CO_2換算）**。
- ○ **基準年度から 29.2%減少**（91,196 トン（CO_2換算）減）。（図１５）
- ○ **前年度から 1.4%減少**（3,026 トン（CO_2換算）減）。
- ○ 二酸化炭素の区分別排出量は、基準年度に比べ、電気は69,872 トン（CO_2換算）減、重油は10,749 トン（CO_2換算）減、ガソリン・軽油は8,149 トン（CO_2換算）減、灯油は2,553 トン（CO_2換算）減、熱供給は440 トン（CO_2換算）減。（表５）

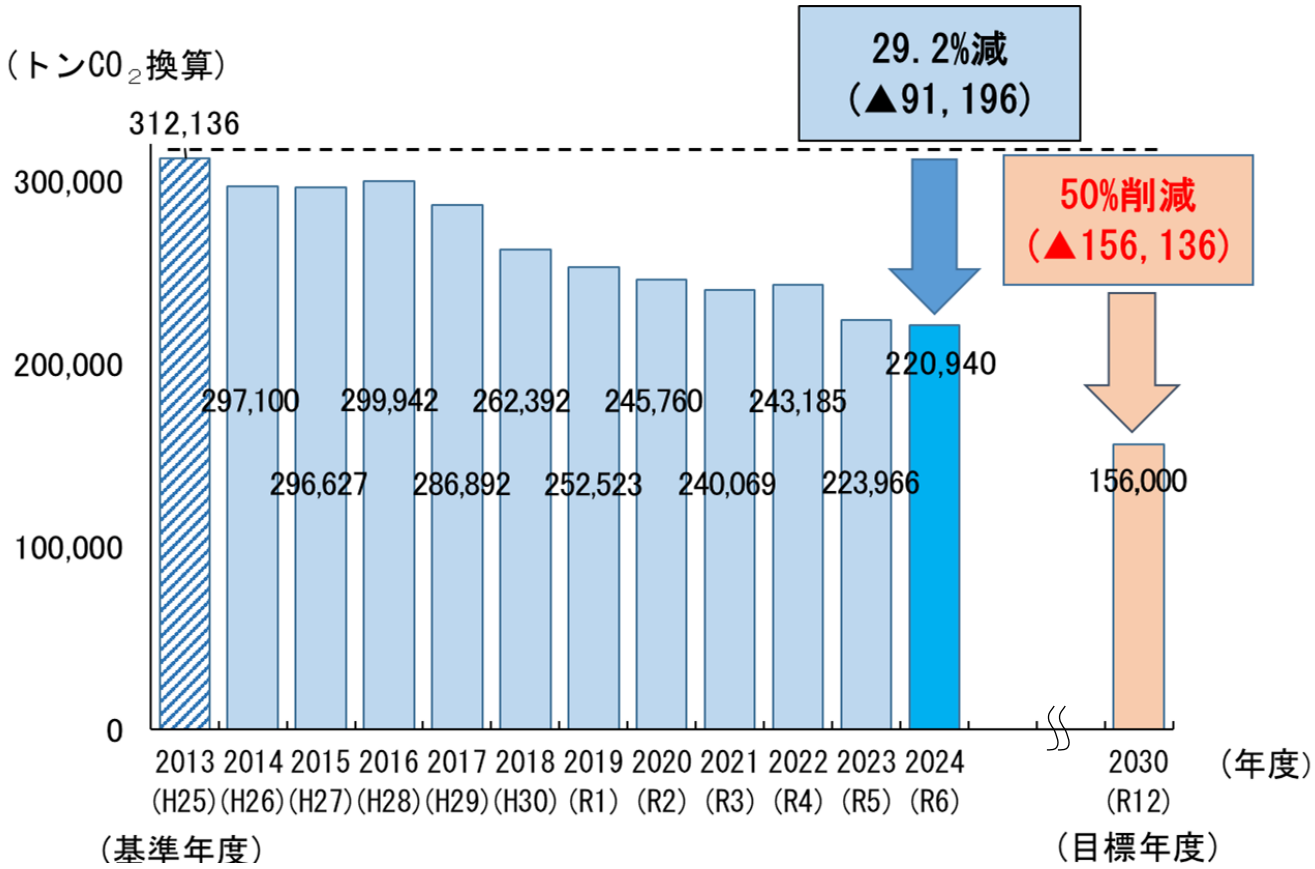

図 15　道の事務事業における温室効果ガス排出量と削減目標との比較

表５　2023(R5)年度の温室効果ガス排出状況　（単位：トン（CO_2換算））

区分		基準年度(2013年度)排出量	2023年度実績	2024年度実績		
			排出量	排出量	基準年度比	
					削減量	削減率
二酸化炭素(CO_2)	電気	186,592	117,251	116,720	▲ 69,872	▲37.4%
	重油	73,486	63,711	62,737	▲ 10,749	▲14.6%
	灯油	14,546	12,677	11,993	▲ 2,553	▲17.6%
	ガソリン	17,789	11,964	11,474	▲ 6,315	▲35.5%
	軽油	4,812	2,986	2,978	▲ 1,834	▲38.1%
	熱供給	3,991	3,890	3,551	▲ 440	▲11.0%
	その他燃料(ガス等)	8,800	9,641	9,643	843	9.6%
	計 ①	310,016	222,120	219,096	▲ 90,920	▲29.3%
その他のガス	メタン(CH_4)	1,021	912	1,028	7	0.7%
	一酸化二窒素(N_2O)	993	855	745	▲ 248	▲25.0%
	ﾊｲﾄﾞﾛﾌﾙｵﾛｶｰﾎﾞﾝ(HFC)	83	79	71	▲ 12	▲14.5%
	六ふっ化硫黄(SF_6)	23	0	0	▲ 23	▲100.0%
	ﾊﾟｰﾌﾙｵﾛｶｰﾎﾞﾝ(PFC)	0	0	0	0	—
	三ふっ化窒素(NF_3)	0	0	0	0	—
	計 ②	2,120	1,846	1,844	▲ 276	▲13.0%
合計(①＋②)		312,136	223,966	220,940	▲ 91,196	▲29.2%

前年度からの主な増減要因

○　削減量 3,026t-CO_2のうち、電気▲531t-CO_2、重油・灯油▲1,658t-CO_2、ガソリン・軽油▲498t-CO_2の３項目で 88.8%を占めています。

○　庁舎等の照明の LED 化による電気使用量の減、比較的暖冬だったことによる暖房用燃料（重油・灯油）の使用量の減、次世代自動車導入によるガソリン・軽油の使用量の減等が影響したと考えられます。

令和６年度の主な取組

○　電気の供給に係る入札において環境配慮契約を実施
　・排出係数等による裾切方式を実施した件数（知事部局４件：128 施設）

○　庁舎等における照明設備の LED 化
　・施設の修繕や改修に合わせた LED 化の推進（68 施設：44,679 台）

○　再エネ設備導入施設等
　・垂直式太陽光発電設備の設置（２施設）

○　公用車（乗用車）の次世代自動車化
　・電気自動車（EV）２台を含む次世代自動車 67 台導入（導入率 31.7%）

○　道有施設の ZEB 化
　・省エネルギー化に配慮した改修を行うとともに、改築にあたっては ZEB 化を推進
　（竣工３施設、工事中４施設、設計中６施設）